

施策15

快適な都市基盤の整備

(全 11 事務事業)

施策15.快適な都市基盤の整備

- 施策評価表

- 事務事業評価表

掲載開始
ページ

1. 福祉巡回バス運行事業	(経営企画課)	1
2. 地域公共交通会議運営事業	(経営企画課)	3
3. オンデマンドバス運行事業	(経営企画課)	5
4. 道路維持管理事業	(都市整備課)	7
5. 道路新設改良事業	(都市整備課)	9
6. 橋梁維持管理事業	(都市整備課)	11
7. 交通安全施設整備・維持管理事業	(都市整備課)	13
8. 都市計画道路志免・宇美線建設事業	(都市整備課)	15
9. 都市計画事務	(都市整備課)	17
10. 国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会事業	(都市整備課)	19
11. 公園管理事業	(都市整備課)	21

施策評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)			前期基本計画期間 <<令和3年度~7年度>>	
体 総 合 計 系 画	基本目標	5. 環境にやさしく快適に暮らせるまち	施策統括課	都市整備課
	施策	15. 快適な都市基盤の整備	関係課	経営企画課・生活安全課・上下水道課

1. 施策の成果指標の達成度

成果指標 (関連する町の取り組むべきこと)	単位	基準値	R5目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R5実績値		
自宅周辺の身近な道路の利用しやすさに満足している町民の割合	%	61.1	62.2		a
15-1		↗	64.0		
狭小な土地分譲(分譲の平均が140m未満)の割合	%	30.7	12.3		a
15-2		↘	0.0		
身近な公園や広場の利用しやすさに満足している町民の割合	%	62.8	65.3		a
15-2		↗	78.3		
巡回バスの利用者数【総合戦略】	人	82,330	83,932		c
15-2		↗	55,768		
給水制限や断水の発生日数(自然災害や計画的な工事等によるものを除く)	日	0	0		a
15-3		→	0		

達成度:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

15-1 安全で便利な道路環境を整える		所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 安全で便利な道路環境の整備 7位 / 52位		都市整備課
町が取り組むべきこと①	慢性的な交通渋滞の対策や交通の利便性向上のため、都市計画道路「志免宇美線」の早期完成を目指し、関係機関に働きかけます。	
主な取り組み状況	・事業推進に向けて関係機関協議などを行った。また、必要な予算を負担した。	
課題	・道路用地取得に協力するが、スムーズな購入が困難である。	
R7年度取り組み方針	・事業進捗の為、関係機関に働きかける。	
町が取り組むべきこと②	交通量など様々な要素を考慮し設定した各計画に基づき道路拡幅、歩道整備、舗装や橋梁を改修するとともに、通学路の交通安全対策や水路への転落防止対策を行います。	
主な取り組み状況	・各計画の優先度により設計、工事などを進めた。	
課題	・急速に環境の変化や道路施設の老朽化が進んでいる。	
R7年度取り組み方針	・各計画に基づき設計、工事などを進める。	
町が取り組むべきことの達成状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない		

構成する事務事業(評価対象事業のみ)										
番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価			
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性	
	担当課	会計区分		R4 決算	R5 決算	R6 予算				
1	道路維持管理事業		特定財源	1	2	10	D	○	D	
	町道を円滑に通行できるよう、日常パトロールや通報等による修繕、専門業者による舗装工事、樹木管理、草刈などを行う。		一般財源	134,707	106,948	136,227				
	都市整備課		一般会計	合計	134,708	106,950	136,237			成果・費用とも維持
				(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	1.43	0.47	1.11				
2	道路新設改良事業		特定財源	126,400	24,700	0	D	-	D	
	道路の現状や町内会からの要望等により、道路の新設や改良を行う。		一般財源	164,690	44,691	47,654				
	都市整備課		一般会計	合計	291,090	69,391	47,654			成果・費用とも維持
				(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	1.14	1.22	1.01				
3	橋梁維持管理事業		特定財源	7,006	13,200	34,650	D	-	D	
	橋梁を安全かつ円滑に通行できるよう、日常パトロールや定期点検による修繕等の維持管理を行う。		一般財源	9,479	12,842	30,555				
	都市整備課		一般会計	合計	16,485	26,042	65,205			成果・費用とも維持
				(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	0.40	0.39	0.59				
4	交通安全施設整備・維持管理事業		特定財源	30,615	18,066	24,800	D	-	D	
	町内会からの要望や道路パトロール、交通安全プログラムなどに基づいて、交通安全施設の整備を行う。		一般財源	23,714	24,163	16,234				
	都市整備課		一般会計	合計	54,329	42,229	41,034			成果・費用とも維持
				(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	0.75	1.52	1.02				
5	都市計画道路志免・宇美線建設事業		特定財源	0	0	44,700	D	-	D	
	都市計画道路志免・宇美線の早期完成に向けた取組を行う。		一般財源	0	0	5,133				
	都市整備課		一般会計	合計	0	0	49,833			成果・費用とも維持
				(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	1.40	0.54	0.67				
町が取り組むべきことを構成する事業の方向性										
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし								
	拡充事業の方向性や内容	なし								
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし								
	縮小事業の方向性や内容	なし								
R7年度の町が取り組むべきことの方向性			<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持							

15-2 快適な住環境を整える <重点取組>	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 公園の適正管理や公共交通の利便性向上など快適な住環境の整備 23位 / 41位	都市整備課

町が取り組むべきこと①	町の都市計画の基本方針を定めた「志免町都市計画マスタープラン」に基づき、各地域の特性にあった土地利用を促進します。
主な取り組み状況	・福岡県における第9回区域区分の定期見直しに際し、志免町都市計画マスタープランに基づき、新たに土地利用転換を図る区域の4箇所を調査・分析を行い、調書を福岡県に提出した。
課題	・都市計画道路の整備が進められていること等により、市街化調整区域における開発圧力が高まっている。
R7年度取り組み方針	・市街化調整区域において、新たな土地利用転換を図る区域を対象に、今後の土地利用の方向性や事業化に向けて、望ましい土地利用のための基礎的検証、整備手法について協議を行い、適切な土地利用を提案する。
町が取り組むべきこと②	新たな開発事業による住環境の悪化を防ぐため、「志免町開発事業指導要綱」に基づく協議により事業者に対し適切に指導します。
主な取り組み状況	・開発指導要綱に基づく事前協議を行った。
課題	・1区画あたりの敷地面積が狭小(140㎡未満)な宅地分譲計画の相談が増加している。
R7年度取り組み方針	・引き続き地域の特性に合わせて、開発指導要綱に基づく協議を行う。
町が取り組むべきこと③	公園の適正管理により、緑豊かな環境の創造と安心して利用できるスペースの提供を行います。
主な取り組み状況	・遊具のみならずトイレやベンチ、照明灯などの公園施設の修繕及び樹木の剪定を行った。
課題	・設置からかなりの年数が経過した公園も多く、施設の老朽化が顕著となってきている。
R7年度取り組み方針	・公園を安全に利用できるよう樹木管理や清掃、遊具の修繕を行う。
町が取り組むべきこと④	快適な暮らしと町内の衛生環境を保つため、下水道施設を計画的に更新するとともに、下水道事業の健全な経営を行います。
主な取り組み状況	・マンホール鉄蓋を浮上防止や耐スリップ性のあるものに更新するなど、ストックマネジメント計画に基づいた計画的な施設更新を実施した。
課題	・マンホールポンプ施設の老朽化が進んでいる。
R7年度取り組み方針	・下水道事業の健全な経営を行う。 ・マンホールポンプ施設及びマンホール鉄蓋の更新を進める。
町が取り組むべきこと⑤	町内公共施設などを利用する際の利便性向上のため、地域公共交通に係る専門部署を設けて、巡回バスを運行するとともに、時代やニーズにあった町内の交通手段について調査、研究します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・オンデマンドバス運行開始に向けて、地域公共交通会議を開催し、運行事業者や乗降場所などの合意を行った。 ・オンデマンドバス「のーと志免」の運行開始に向けて、全体説明会や町内会説明会を開催した。 ・令和6年3月より、オンデマンドバス「のーと志免」を運行開始した。 ・効果的な運行に向けて、システム提供事業者や運行事業者と定例会を開催した。
課題	・これまでの定時定路線の福祉巡回バスからオンデマンドバス(予約型)への転換により、利用方法などについての問い合わせが多い。 ・利用したい時間に偏りがあり、予約をとりづらい時間がある。 ・オペレーターによる電話予約は、電話がつながりづらい時間がある。
R7年度取り組み方針	・あらゆる広報媒体を活用し、利用方法や乗降場所などの案内を行う。 ・利用状況などを研究を行うとともに、関係事業者と連携し、町に合ったオンデマンドバスシステムの要件や運行シフトなどの調整を行う。
町が取り組むべきこと⑥	高齢化がすすむ戸建ての住宅団地において、多世帯住宅や平屋住宅、バリアフリー住宅を建築しやすくするなど、時代と地域特性にあった建築規制の見直しを行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・2世帯住宅やバリアフリー住宅等の住宅モデルケースを用いて、建築規制緩和について検証を行った。
課題	・住民ニーズに合った建築規制の把握や見直しに対する住民との合意形成が一部できていない。
R7年度取り組み方針	令和6年度において、建築規制緩和に向けた都市計画の変更を行い完了予定のため、令和7年度は取り組みを行わない。

町が取り組むべきことの達成状況								
<input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない								
構成する事務事業(評価対象事業のみ)								
番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価	
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度
担当課	会計区分	R4決算		R5決算	R6予算			
1	福祉巡回バス運行事業		特定財源	310	0	-	-	
			一般財源	19,350	19,343	-		
			合計	19,660	19,343	-		
	町民の町内移動の利便性向上のため、無料の福祉巡回バスを運行する。		(内 会計年度任用職員人件費)					
経営企画課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.52	0.58	-	休止・廃止済	
2	地域公共交通会議運営事業		特定財源	0	0	0	D	D
			一般財源	77	58	53		
			合計	77	58	53		
	デマンド交通の実証運行など今後の最適な公共交通について検討をするため、地域公共交通会議を設置して、交通関係者による協議を行う。		(内 会計年度任用職員人件費)					
経営企画課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.73	0.29	0.27	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
3	オンデマンドバス運行事業		特定財源	-	59,748	9,027	A	A
			一般財源	-	1,910	44,281		
			合計	-	61,657	53,308		
	町民の日常生活に必要な交通手段の確保と町内移動の利便性向上のため、デマンド型交通の運行を行う。【令和5年度新規事業】		(内 会計年度任用職員人件費)					
経営企画課		一般会計	関与 正職員数(人)	-	1.95	1.65	成果拡充・費用拡大	成果拡充・費用拡大
4	都市計画事務		特定財源	1,143	0	0	A	A
			一般財源	4,816	3,777	8,195		
			合計	5,959	3,777	8,195		
	町の都市計画に沿った土地利用を推進する取組を行う。		(内 会計年度任用職員人件費)					
都市整備課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.95	0.66	1.02	成果拡充・費用拡大	成果拡充・費用拡大
5	国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会事業		特定財源	30,959	0	0	D	D
			一般財源	580	597	1,100		
			合計	31,539	597	1,100		
	国鉄志免炭鉱跡地の管理が適正に行われるよう、粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理協議会を3町で2年ごとの輪番により運営する。		(内 会計年度任用職員人件費)					
都市整備課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.46	0.40	0.38	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
6	公園管理事業		特定財源	34,030	5,480	18,300	D	D
			一般財源	153,175	155,132	187,852		
			合計	187,205	160,612	206,152		
	町民が公園広場を安全で快適に利用できるよう、公園内の樹木管理や遊具の点検、修繕等の管理を行う。		(内 会計年度任用職員人件費)	(12,696)	(13,775)	(17,684)		
都市整備課		一般会計	関与 正職員数(人)	1.46	0.93	1.37	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
7	吉原防災ふれあい広場維持管理事業		特定財源	-	-	0	D	D
			一般財源	-	-	1,315		
			合計	-	-	1,315		
	吉原防災ふれあい広場の維持管理を行い、町民が安全で快適に利用できるよう、芝生管理や遊具の点検、修繕等の管理を行う。【令和6年度新規事業】		(内 会計年度任用職員人件費)					
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	-	-	0.37	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
町が取り組むべきことを構成する事業の方向性								
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし						
	拡充事業の方向性や内容	・オンデマンドバス運行事業は、利用需要に応えることができるよう、バスの台数を1台増台し、常時4台運行を行う。						
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし						
	縮小事業の方向性や内容	なし						
R7年度の町が取り組むべきことの方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input type="checkbox"/> 維持					

15-3 安全な水を安定的に供給する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 安全な水の安定供給 1位 / 1位	上下水道課

町が取り組むべきこと①	安心して飲める水を安定的に供給するため、水道施設を計画的に更新するとともに、水道事業の健全な経営を行います。
主な取り組み状況	・配水管を耐震性のあるものに順次更新するなど水道事業ビジョンに基づいた計画的な施設更新を実施した。また、湯水に備えた水源確保のため、御笠川水源地に井戸掘削を行った。
課題	・水源余裕率は同規模事業体と比較して低い水準にある。
R7年度取り組み方針	・水道水の安定供給のため、健全な水道事業経営を行うとともに、老朽化施設の更新や耐震化工事、水源の確保を進める。

町が取り組むべきことの達成状況	
<input checked="" type="checkbox"/>	町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
<input type="checkbox"/>	町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない
<input type="checkbox"/>	町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない

構成する事務事業(評価対象事業のみ)									
番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価		
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
	担当課	会計区分		R4 決算	R5 決算	R6 予算			
1	※評価対象事業なし		特定財源						
			一般財源						
			合計						
			(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)						

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性		
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	なし
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし
	縮小事業の方向性や内容	なし
R7年度の町が取り組むべきことの方向性		<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持

3. 施策の総括と今後の展開

施策の成果指標達成度について「自宅周辺の身近な道路の利用しやすさに満足している町民の割合」、「狭小な土地分譲の割合」、「身近な公園や広場の利用しやすさに満足している町民の割合」、「給水制限や断水の発生日数」に関しては、目標を達成した。また、「巡回バスの利用者数」に関しては、目標に達しなかったものの順調に数値が推移している。道路、橋梁、交通安全施設、都市計画、公園等については、各方針・計画に基づき事業を推進していく。オンデマンドバスについては、運行開始して2年目であり、臨機応変な事業運営を行う。また、上下水道事業については、引き続き健全な経営に努めていく。

4. 施策の進行状況

<input type="checkbox"/>	目標に向かって順調に進んでいる
<input checked="" type="checkbox"/>	目標に向かってある程度順調に進んでいる
<input type="checkbox"/>	目標に向かってあまり進んでいない
<input type="checkbox"/>	目標に向かって進んでいない

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0515201
事務事業名		福祉巡回バス運行事業		担当課	経営企画課	担当係	政策推進係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	15-2	快適な住環境を整える		款	03	民生費
					項	01	社会福祉費
					目	01	社会福祉総務費
根拠法令条例等			志免町福祉巡回バス運行事業実施要綱		個別計画		
実施期間		<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 16 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	町内を移動しやすくなる	人	46,638	46,588	46,497
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	シーメイトや役場等を経路とした無料で利用できる福祉巡回バスの運行を行う(6コース、3台バス、1日24便運行、月曜日[月曜日が祝日の場合は翌日]と年末年始は運休) ・無料の福祉巡回バスの運行業務を委託にて実施、委託業者との連絡調整 ・バスの法定点検や修繕事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	運行日数	日	目標	306	306	-
				実績	303	306	100.0%
イ	成果	巡回バス利用者数	人	目標	83,398	84,560	-
				実績	52,850	55,768	66.0%
ウ	成果	利用者1人当たりの経費(参考) ≪経費/巡回バス利用者数≫	円	目標	234	227	-
				実績	372	333	53.2%
エ				目標			
エ				実績			
オ				目標			
オ				実績			
カ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	310	0	0	0	
		一般財源	19,350	19,180	19,343	0	
合計(A)		19,660	19,180	19,343	0		
(内 会計年度任用職員人件費)							
正職員人件費[按分](B)			3,977	3,027	4,248	0	
トータルコスト(A)+(B)			23,637	22,207	23,591	0	
関与職員数(単位:人)		正職員	0.52	0.39	0.58	0.00	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成16年4月の志免町総合福祉施設の利用開始に伴い、施設利用促進のために開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少した状態が続いている。世界情勢の変化による物価や燃料費が高騰し、経費増となっている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 ・利用者からバスの早発・延着、運転マナー、ドライバーの接遇等に対する苦情が寄せられている。 ・交通不便地域の住民からは、福祉巡回バスに代わる交通手段の導入を求める声がある。
---	---	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	総合計画で巡回バスの運行を町の取組として掲げている。また、巡回バスの利用者と施設の開館状況には相関関係があり、巡回バスの運行は公共施設の利用における利便性向上に貢献していると考えられるため。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更されることにより、人流が変化し、利用者が増加してくると予想されるため。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	役場開庁日とバス運行日が異なる、車庫がシーメイトにあるといった事情で、車両故障やクレーム対応等不測の事態に効率的に対応することが難しい。	2
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
b	課題が少しあり業務の一部見直しが必要					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
—	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	廃止	G				
—		廃止済				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0515202
事務事業名		地域公共交通会議運営事業		担当課	経営企画課	担当係	政策推進係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	15-2	快適な住環境を整える		款	02	総務費
					項	03	企画費
					目	01	企画総務費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 R 4 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~ 年度

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 地域公共交通会議	団体	1	5	1
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	町内の地域公共交通に関する方針等の合意形成が行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	地域公共交通会議の開催を行う (開催通知、資料準備、議事要旨作成、委員報酬支払等)				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	地域公共交通会議実施回数	回	目標	2	3	133.3%
				実績	2	4	
イ	成果	オンデマンドバス導入の合意形成	回	目標	1	1	100.0%
				実績	1	1	
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	77	144	58	53	
		合計(A)	77	144	58	53	144
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)		5,582	4,885	2,124	2,149	
	トータルコスト(A)+(B)		5,659	5,029	2,182	2,202	
関与職員数(単位:人)		正職員	0.73	0.63	0.29	0.27	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 高齢化が進行する中で、将来の日常生活での移動手段の確保に不安な住民が増えており、町内のそういった地域からはオンデマンドバスの導入の検討を求める要望書が提出された。それに伴い、町の公共交通として、予約に応じ運行する「デマンド型交通(区域運行)」の導入を検討するための材料として実証実験を実施するに当たり、公共交通関係者による検討・協議を行い、合意形成を図る、地域公共交通会議を設置するために事業を開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 地域住民の高齢化や、町内の主要道路の慢性的な渋滞により、町内移動について様々な要望が挙がっている。町運営の福祉巡回バスについても、新バス停の設置や増便、ルート変更などの要望が挙がっており、現状の志免町の交通について不満を感じている人が多くなっている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 特になし。
--	--	-------------------------------

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町内の公共交通の現状とこれからについて協議し、今後の方針が決まることで、利便性の向上につながると考えられるため。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画及び総合戦略の「時代やニーズに合った町内の交通手段について調査、研究します」に直結するため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	自治体が運営する交通体系についての議論の場であるため、自治体が主体で取り組むべき事業である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	令和5年度中には、書面開催を含む計4回の会議を実施し、オンデマンドバスの設定に関する協議について承認をいただけたので、期待する成果を得られたと言える。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	新しい交通事業の導入、附随事項の決定などには、地域公共交通会議での合意が必要になるため。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	新しい交通事業の導入、附随事項の決定などには、地域公共交通会議での合意が必要になるため。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	会議委員との連絡、交通事業者との打ち合わせなど、必要最低限の人数で対応している。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	会議実施後に発生する報償費は最低限であり、削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	会議体の運営自体についての国・県からの補助はなく、受益者には負担が発生していないため適正である。	

分析・検証結果		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	令和4年度から地域公共交通会議を実施し、会議で承認をいただいたオンデマンドバスが令和5年度末から運行開始した。令和5年度中の会議回数は4回となり、運行開始までに予定以上の回数会議を実施した。関係各所との情報の整理や、運行事業者の急な変更が要因であった。オンデマンドバス運行の1年目となるため、多くのところから意見が挙がってくるのが予想される。今後は、情報の整理を行い、会議の実施回数を適切な回数に納めて効率的な運営ができるよう努めたい。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0515203
事務事業名		オンデマンドバス運行事業		担当課	経営企画課	担当係	政策推進係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	15-2	快適な住環境を整える		款		
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 R 5 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	町内を移動しやすくなる	人	46,638	46,588	46,497
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	オンデマンドバス「のるーと志免」の運行を行う。 【運行エリア】町内全域【運行時間】月~土曜日 8:30~18:30※日、祝日及びお盆、年末年始運休 【車両】3台運行/定員9名【運賃】大人200円 小学生100円 など ・関係事業者とのシステム要件などの協議 ・運行開始にかかる説明会の実施				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	年間利用者数	人	目標	-	200	608.0%
				実績	-	1,216	
イ	活動	運行日数	日	目標	-	26	100.0%
				実績	-	26	
ウ	成果	利用者満足度	%	目標	-	70	135.7%
				実績	-	95	
エ				目標			
オ				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定財源	国・県支出金、地方債			30,556	9,027
		その他特定財源			29,191	0	
		一般財源			1,910	44,281	
		合計(A)	0	0	61,657	53,308	44,885
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)				14,294	13,134	
	トータルコスト(A)+(B)		0	0	75,952	66,442	
関与職員数(単位:人)		正職員			1.95	1.65	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 運行していた福祉巡回バスは故障も多く、更新時期に入っており、また利用者からは便数やバス停の追加、利便性の向上など要望が増え、定時定路線の状態では要望に応えることができないため、新しい公共交通について検討し、導入に至った。	②事務事業を取り巻く環境の変化 志免町内に住む人のライフスタイルは多様化しており、	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 ・仕組みが難しい ・アプリの操作が困難 ・町外のショッピングモールや空港に乗り入れてほしい など、
--	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	旧バスでは、運行途中で乗客0人「空気を運ぶ」状況が発生していたが、利用需要に応じて運行を行うため、ニーズにあった交通を運行できている。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	巡回バスの運行の目的は、町内移動の利便性向上であり、総合計画に合致している。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	西鉄バス等民間事業者の運行がない地域について、自家用車等の移動手段が無い町民等の移動手段の確保は自治体が担う必要があるため。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	事業開始直後としては順調な成果になっている。今後は福祉巡回バスの利用者が流入してくるため、より高い成果が期待できる。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	オンデマンドバスは対象者を限定せず、すべての町民が利用可能であるため、適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	移動の需要に応じた運行形態であり、適切である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	バスの運行自体は、依頼したタクシー会社が運行しており、修繕や点検などの対応についても依頼先が対応するため、効率的である。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	軽油価格の上昇や物価高騰、車両老朽化による修繕が増え、経費は年々上昇しているが、安全な運行に必要な経費であり、削減することは望ましくない。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	基本乗車料金を有料にしており、受益者負担となっている。また、事業に関する補助として、国・県から補助を受けている。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など) オンデマンドバスは令和6年3月1日から運行開始し、運行開始1か月間は福祉巡回バスと並行しての運行であった。オンデマンドバスの運行開始前は、利用方法の周知で全体説明会と要望があった町内会で個別の説明会を実施し、3月の1日平均利用者数は約50名となった。説明会や、窓口に来庁される方々からは、「新しい仕組みが難しい」「覚えられるか不安」「乗り遅れないだろうか」など、不安があり、今後粘り強い周知活動を行い、利用者増を目指す。		
			0点	1点		2点	3点
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c		c	c
		いずれか1点	c	c		c	c
		合計4点	c	c		b	b
		合計5点	c	b		b	a
合計6点	c	b	a	a			
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大	利用状況を検証し、町にあったシステム要件を構築するとともに、利用需要にあった稼働台数の見直しを行い利用者の増加を目指す。	
今後の方向性	成果の方向性	皆減	縮小	維持	拡大	コストの方向性(一般財源・関与職員数)	
	拡大		C	B	A	稼働台数の見直しに伴い、増台する車両調達費用(イニシャルコスト)やシステム利用料等(ランニングコスト)が増加する。	
	維持		E	D			
	縮小		F				
	休廃止	G					
A		成果拡充・費用拡大					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報	<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業	事務事業コード	1315102
事務事業名	道路維持管理事業		担当課	都市整備課
担当係			担当係	都市整備係
総合計画系	施策	15 快適な都市基盤の整備	予算科目	01 一般会計
	取り組み方針	15-1 安全で便利な道路環境を整える		08 土木費
				02 道路橋梁費
				02 道路維持費
根拠法令条例等	道路法、志免町道路管理条例		個別計画	
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度~ 年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	町道	m	156,728	156,954	157,110
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	円滑に道路通行ができる				
		町道における事故防止と災害時等の迅速な対応ができる体制の整備と各種専門業者(舗装、樹木管理、土木等)と年間契約を結び、町道の維持管理を行う ・日常パトロールや通報等による職員での修繕 ・各種契約事務(舗装工事、樹木管理、草刈など)				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	道路補修箇所数	箇所	目標	90	90	47.8%
				実績	90	43	
イ	活動	樹木管理本数	本	目標	1,510	1,000	98.9%
				実績	1,450	989	
ウ	活動	草刈面積	m2	目標	60,000	64,000	102.9%
				実績	60,000	65,840	
エ	成果	管理不足が起因となる事故件数	件	目標	0	0	
				実績	0	3	
オ	成果	道路補修箇所数(発見数)の補修率	%	目標	-	100	100.0%
				実績	-	100	
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	1	10	2	10	
		一般財源	134,707	111,716	106,948	136,227	
合計(A)		134,708	111,726	106,950	136,237		
(内 会計年度任用職員人件費)							
正職員人件費[按分](B)		10,936	11,621	3,238	9,294		
トータルコスト(A)+(B)		145,644	123,347	110,188	145,531		
関与職員数(単位:人)		正職員	1.43	1.50	0.47	1.11	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 道路舗装整備率の高まりと人口や交通量の増加による道路維持管理に対する要望が強くなってきたため、本事業が開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 本町の人口増をはじめ隣接市町の人口も増加し、通行車両の増加とともに道路の老朽化も進んでいる。さらには、本格的な舗装改良工事も財政面から先送りされる事が多いため、本事業の必要性が増大している。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 舗装は応急的ではなく抜本的な整備。道路樹木は落葉処理と大がかりな剪定。草刈は迅速な対応が求められている。
---	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町道を円滑に通行できる状態にすることで快適な住環境が整った町づくりを表現できる	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	道路法、志免町道路管理条例に沿って道路環境を整えているため妥当である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	公共の道路のため自治体が主体となり管理を行う必要がある	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	道路の修繕箇所の早期発見、対応により、期待する成果が得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	道路や法面等、公共の管理地を対象としているため適切である	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	舗装はパトロール等の結果から優先度をつけ順番に修繕を行っている。草刈や樹木は住民からの情報共有やパトロール等の際に随時対応を行っている	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	職員同士で情報共有等を行い随時対処しており、効率的に行っている。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	職員数は必要最小限で行っているため削減余地なし	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活用できる補助金等はないため適切である	

分析・検証結果	妥当性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	舗装に関しては町内全体的に劣化しているため優先度の見直し等を行い計画的に修繕し続ける必要がある。樹木や草刈は今年度も主な苦情の原因となっている。自主的に伐採を行っていた住民の方々の高齢化もあり、年々作業箇所が増加している。箇所によっては大規模な防草対策等も必要になりそう
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業			<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1315103
事務事業名		道路新設改良事業			担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計	
	取り組み方針	15-1	安全で便利な道路環境を整える		款	08	土木費	
					項	02	道路橋梁費	
					目	03	道路新設改良費	
根拠法令条例等		道路法、志免町道路管理条例			個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~ 年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 整備(工事)が必要な町道箇所	箇所	8	3	3
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・必要な整備(工事)が行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	道路の現状や町民の方、町内会からの要望等により、道路の新設や改良を行う ・現地調査の実施、施工方法の検討、設計積算 ・工事契約事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア 活動	工事実施箇所数	↑	件	目標	7	4	75.0%
				実績	8	3	
イ 成果	整備実施率(工事実施箇所数/整備[工事]が必要な箇所数)	↑	%	目標	100	100	75.0%
				実績	86	75	
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定財源	国・県支出金、地方債	126,400	51,300	24,700	0
		その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	164,690	49,320	44,691	47,654	
		合計(A)	291,090	100,620	69,391	47,654	100,620
	(内 会計年度任用職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)		8,719	7,905	8,424	8,450	
	トータルコスト(A)+(B)		299,808	108,525	77,815	56,104	
関与職員数(単位:人)		正職員	1.14	1.02	1.22	1.01	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 市街化が進むにつれ、人口と交通量の増加による道路整備に対する要望が強くなってきたため、本事業が開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 本町および隣接市町の人口増加に伴い、通行車両も増加し道路の老朽化も進んでいるため、本事業の必要性が増大している。国からの補助金等にも注視している。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 町民より道路拡幅を含む改良工事が望まれている。
---	--	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町内の良好な道路機能を確保することを目的に、道路の新設や改良工事を行うことで、快適な住環境が整った街づくりにつながるため。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			町民からの要望や渋滞緩和、交通の利便性の向上を目的に、道路拡幅や歩道の整備などを行うため。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	財政上の問題で大規模な改良工事はできないが、国庫補助事業を含め予算確保ができれば成果は確実に向上する。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			必要箇所を選定している。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	法令等遵守し、限られた職員にて事業実施している。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			限られた予算であるため、現場状況を吟味して優先順位をつけ工事を実施している。引き続き、国庫補助事業の活用やコストが抑えられる工法などを採用する。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			

分析・検証結果	妥当性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	限られた予算であるため、現場状況を吟味して優先順位をつけ工事を実施した。引き続き、国庫補助事業の活用やコストが抑えられる工法なども検討していきたい。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1315104	
事務事業名		橋梁維持管理事業		担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	15-1	安全で便利な道路環境を整える		款	08	土木費
根拠法令条例等				個別計画	項	02	道路橋梁費
				目	04	橋梁維持費	
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 22 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 志免町が管理する橋梁 ⑧ ⑨	橋	87	87	87
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	事故防止、災害時等の迅速な対応ができる体制整備と点検等の維持管理を行う ・日常パトロールや定期点検による修繕の実施 ・各種契約事務(補修工事、点検、調査など)				
		・安全かつ円滑に通行できる				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	パトロール実施回数	回	目標	12	12	100.0%
				実績	12	12	
イ	活動	老朽化対策設計数	橋	目標	3	0	
				実績	3	0	
ウ	活動	老朽化対策工事数	件	目標	0	3	100.0%
				実績	0	3	
エ	成果	管理不足が原因の事故件数	件	目標	0	0	
				実績	0	0	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	7,006	13,200	13,200	34,650
財源		その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	9,479	13,304	12,842	30,555	
		合計(A)	16,485	26,504	26,042	65,205	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)		3,058	7,747	2,687	4,942	
	トータルコスト(A)+(B)		19,543	34,251	28,729	70,147	
関与職員数(単位:人)		正職員	0.40	1.00	0.39	0.59	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町内の橋梁は老朽化が急速に進んでいる。このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費のコスト削減を図るため、点検を含む維持管理業務を行い、橋梁の長寿命化を図り道路網の安全性・信頼性を確保する。	②事務事業を取り巻く環境の変化 日本全土で橋梁維持管理の重要性がクローズアップされている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 国や県等より橋梁老朽化対策等を進めるように指示あり。
--	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	事故防止と災害時等の迅速な対応ができる体制を整えておくと共に、車輦や歩行者の安全かつ円滑な交通を図るため、点検を含む維持管理を行うことで、快適な住環境が整ったまちづくりにつながる。	3		
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	将来にわたって快適な住環境を整ったまちを実現するには、安全で便利な道路環境を整える必要があるため。			
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	道路橋梁は自治体の管理物であるため、妥当である。			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	志免町橋梁個別施設計画に基づき、修繕が必要な橋梁を選定し対策を行っているため効率よく成果を上げることができている。	3		
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	志免町橋梁個別施設計画に基づき、修繕が必要な橋梁を対象にしている。			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	志免町橋梁個別施設計画に基づき、最も有効な手段を選定している。			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	専門知識を持った業者に業務委託を行うことで、最小の事務量で済ませている。	3		
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	設計等の業務委託のなかで、修繕方法の比較検討を行い、最も適正な方法で対策を実施している。			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国の補助金を活用している。			
分析・検証結果			分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
			国庫補助事業による橋梁補修工事を行った。維持の重要性を再認識し、計画の推進に努めていきたい。			
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b
		合計5点	c	b	b	a
合計6点		c	b	a	a	
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)				
		皆減	縮小	維持	拡大					
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A				
		維持		E	D					
		縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
		休廃止	G							
D		成果・費用とも維持								

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業			<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1315105
事務事業名		交通安全施設整備・維持管理事業			担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計	
	取り組み方針	15-1	安全で便利な道路環境を整える		款	08	土木費	
根拠法令条例等				個別計画	項	02	道路橋梁費	
				目	06	交通安全施設整備費		
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 58 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	㊦ 道路転落等危険対象箇所 ㊧ 交通安全プログラム対象箇所 ㊨	箇所	181	181	181
事業内容	③手段 (どのようにして)	町内会からの要望や道路パトロール、交通安全プログラムなどに基づいて、交通安全施設(ガードレール、カーブミラー、区画線、横断防止柵、転落防止柵、道路照明等)の整備を行う ・道路パトロール、整備箇所の検討、整備箇所の設計 ・契約事務				
	※実施年度に行った主な活動					

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率		
ア	活動	交通安全施設整備数(転落防止柵、横断防止柵)	↑	m	目標	175	210	430	81.4%
					実績	260	171		
イ	活動	交通安全施設整備数(道路照明[新設])	↑	灯	目標	0	0	0	
					実績	0	0		
ウ	活動	交通安全施設整備数(カーブミラー)	↑	箇所	目標	0	0	0	
					実績	4	1		
エ	活動	既存施設修繕件数	↑	件	目標	50	50	50	100.0%
					実績	50	50		
オ	成果	対策箇所数(道路転落等危険対象箇所)	↑	箇所	目標	1	1	2	100.0%
					実績	1	1		
カ	成果	対策箇所数(交通安全プログラム対象箇所)	↑	箇所	目標	93	5	79	100.0%
					実績	88	5		

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	特定財源	国・県支出金、地方債	8,616	11,000	7,885	11,000	
経費	特定財源	その他特定財源	21,999	12,560	10,181	13,800	
		一般財源	23,714	16,247	24,163	16,234	
		合計(A)	54,329	39,807	42,229	41,034	39,807
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)		5,743	8,143	10,489	8,544	
	トータルコスト(A)+(B)		60,073	47,950	52,718	49,578	
関与職員数(単位:人)		正職員	0.75	1.05	1.52	1.02	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 交通量の増加、交通事故を撲滅するため、交通安全特別交付金が昭和58年から交付されるようになったことによる。	②事務事業を取り巻く環境の変化 近年における通学路での事故を受けて、通学路における安全対策の要望が増加している。 また、主要道路以外の生活道路等において、自動車に対するスピード抑制の対策の要望が増加している。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 毎年次のような要望が町内会等から寄せられている。 ・見通しの悪い交差点に新規カーブミラーの設置 ・自動車のスピード抑制 ・歩行者の安全対策
---	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	交通安全上の危険がある箇所について、安全確保され、交通事故が防止されることは快適な住環境の整ったまちづくりにつながる。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	地元要望や通学路合同点検の結果に基づいた内容であるため、適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	公共の道路における交通安全施設の整備であり、町が実施すべき事業である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	交通安全プログラムに基づき、計画的に対策を実施しているため、期待する成果を得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	地元要望や通学路合同点検の結果に基づいた内容であるため、対策の対象としては適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	地元要望や通学路合同点検の結果に基づき対策を行っているため、住民のニーズに沿っており最も有効な手段であると考ええる。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	要望箇所の拾い上げ作業は、町内会および、各小中学校が行うなどし、業務の効率化を行っている。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	交通安全プログラムのなかで最もコストパフォーマンスが高い対策を検討しているため、適切である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	交通安全特別交付金も活用しており、適正である。	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	交通安全プログラムや令和3年度緊急工事合同点検の結果及び、道路転落等危険箇所対策計画等に基づき、優先度に応じた効率的な対策を実施することができた。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1315107	
事務事業名	都市計画道路志免宇美線建設事業			担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計		
	取り組み方針	15-1	安全で便利な道路環境を整える		款		
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 年度より開始 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(複数年) H 25 年度~ R 8 年度						

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 都市計画道路志免宇美線(計画決定区間[志免町内])	m	1,700	1,700	1,700
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	福岡県が事業主体である都市計画道路志免宇美線(幅員25m)の早期完成に向けた取組を行う ・志免宇美線調整会議(福岡県、志免町、宇美町)への参加 ・負担金支払事務				
		・遅滞なく建設事業が行われる				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	調整会議参加回数	回	目標	7	3	3
				実績	4	3	
イ	成果	事業認可区間(志免町内)	m	目標	820	820	820
				実績	820	820	
ウ	成果	用地買収進捗率(筆数ベース)	%	目標	81	100	100
				実績	81	88	
エ	成果	工事進捗率	%	目標	20	30	40
				実績	20	30	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	44,700
	財源	その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	5,133	
		合計(A)	0	0	0	49,833	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	10,716	9,302	3,731	5,611	
		トータルコスト(A)+(B)	10,716	9,302	3,731	55,444	
		関与職員数(単位:人)	正職員	1.40	1.20	0.54	0.67

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 本路線は、都市計画道路であり宇美町内の工区も完成に近づいたことから、志免町内の次期工区について事業の実施が必要となったため。	②事務事業を取り巻く環境の変化 県道68号線において、慢性的な渋滞を改善させ、歩行者の安全と良好な沿道環境を確保することに加え、災害時の緊急事態に対応できる道路網整備のニーズが高まっている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 地域住民においても交通事情の改善について非常にニーズが高い。
--	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	都市計画道路志免宇美線が遅滞なく事業が行われることは、道路の利便性の向上につながり、快適な住環境が整ったまちの実現に直結する。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			総合計画に掲げる町が取り組むべき「安全で便利な道路環境を整える」という方針に合致し、適切である。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	関係機関とより綿密な協議を行い連携することで成果向上余地はある。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			都市計画道路であり、より良い交通環境の整備を目的としており妥当である。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	県と実施する協議等について最低限の人員で対応しており見直しの余地はない。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			基準に基づくものであり、町が負担する投入コストは適正である。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	令和5年度は、過年度に引き続き福岡県による用地買収、また、それに伴う用地測量、補償調査、工事等が実施された。早期完成に向けて、福岡県と連携し事業の推進に努める。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
D		成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1315202
事務事業名		都市計画事務		担当課	都市整備課	担当係	都市計画係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
					款	08	土木費
	取り組み方針	15-2	快適な住環境を整える		項	05	都市計画費
					目	01	都市計画総務費
根拠法令条例等		都市計画法		個別計画	志免町都市計画マスタープラン		
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 45 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~ 年度

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 都市計画区域(志免町全域)	km2	9	9	9
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・都市計画に沿った土地利用が行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	都市計画に沿った土地利用を推進する取組を行う ・都市計画に関する調書の作成、法定手続き事務、都市計画審議会運営事務 ・都市計画図の管理、販売				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	都市計画に関する法定手続き事務件数	件	1	1	1	
				実績	0	0	
イ	活動	都市計画審議会開催回数	件	2	3	3	33.3%
				実績	2	1	
ウ	成果	市街化調整区域の市街地形成面積	m2	0	0	0	
				実績	0	0	
エ	成果	既成市街地用途転換面積	m2	11,000	12,600	12,600	
				実績	0	0	
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	1,143	0	0	0
	財源	その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	4,816	9,789	3,777	8,195	
		合計(A)	5,959	9,789	3,777	8,195	2,621
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	7,272	5,112	4,552	8,544	
		トータルコスト(A)+(B)	13,232	14,901	8,330	16,739	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.95	0.66	0.66	1.02	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、昭和43年に都市計画法が施行された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 住民から市街化調整区域の地区計画の策定と、用途地域変更の要望が寄せられている。
---	-----------------------	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	地域の特性に合った土地利用を促進することで、上位計画である志免町都市計画マスタープランに掲げられた将来都市像の実現につながる。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	第6次総合計画の町が取り組むべきことの「快適な住環境を整える」ことに、都市計画に沿った土地利用を促進することを記載しているため。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	都市計画は各自治体により定められる。しかしながら決定までには住民の意見を十分に伺う必要がある。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	都市計画マスタープランに沿った形で線引き見直しや用途地域の変更が行われることにより、成果が向上する。	2			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	都市計画法で規定する都市計画区域が、志免町全域で指定されているため。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	都市計画法で定められた手続き等を行っているため。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現在の事務従事時間は必要最低限であり、削減の余地はない。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現在の予算は必要最低限であり、削減の余地はない。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	都市計画に関することは、上位計画の施策を行っていく上でも重要であり、財源を確保することは必要である。また、都市計画に関することは多岐にわたるため、その使途によって、特定財源を活用できるものもある。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など) 当事務事業のほとんどが法定事務のため町の業務としては必須である。 令和5年度は、市街化調整区域における地区計画運用基準の廃止、第一種低層住居専用地域における建築規制緩和及び石橋台用途地域変更について、都市計画審議会に諮り審議した。 令和5年度に実施した内容をもとに、令和6年度においても継続して推進する。		
			0点	1点		2点	3点
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c		c	c
		いずれか1点	c	c		c	c
		合計4点	c	c		b	b
		合計5点	c	b		b	a
合計6点	c	b	a	a			
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	D			
縮小		F				
休廃止		G				
D		成果・費用とも維持				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1315208	
事務事業名	国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会事業			担当課	都市整備課	担当係	都市計画係
総合計画系	施策	16	健全な行財政運営	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	16-2	公共施設等の効率的・効果的な管理運営を行う		款	02	総務費
根拠法令条例等	粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会規約			個別計画	項	03	企画費
					目	03	ぼた山対策費
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 R 2 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)			年度~	年度		

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		⑦ 粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理協議会	団体	1	1	1
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・円滑に協議が行われる ・国鉄志免炭鉱跡地の管理が適正に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	・協議会からの文書收受事務、協議会の各会議への参加、草刈業務の実施、協議会への負担金支払事務 ・事務局運営事務(3町で2年ごと輪番制)				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	総会参加回数	回	目標	1	1	100.0%
				実績	2	1	
イ	活動	その他会議参加回数	回	目標	4	4	75.0%
				実績	3	3	
ウ	活動	負担金額	千円	目標	200	200	100.0%
				実績	31,159	200	
エ	成果	完了した事業件数	件	目標	1	1	100.0%
				実績	2	1	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	特定財源	国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
	その他特定財源	30,959	0	0	0		
	一般財源	580	602	597	1,100		
	合計(A)	31,539	602	597	1,100		
	(内 会計年度任用職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)	3,526	2,951	2,757	3,187		
	トータルコスト(A)+(B)	35,064	3,553	3,354	4,287		
関与職員数(単位:人)	正職員	0.46	0.38	0.40	0.38		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成29、30年度の総会において、粕屋町の一部の議員より長年協議しているにも関わらず前進していないのでスリム化してほしいとの要望が上がり、管理部門が三町長以下各町職員が運営する「粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会」が発足したため。	②事務事業を取り巻く環境の変化 国鉄炭鉱跡地の維持管理方法が法令上正しい状態になった。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	--	----------------------------

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	国鉄炭鉱跡地について3町で協議することにより、継続的な維持管理に結び付く。	2			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	国鉄炭鉱跡地は3町共有の普通財産であり、その維持管理は所有者としての責務であるため妥当。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	国鉄炭鉱跡地は3町共有の普通財産であるため、事業主体も3町で協議して進める。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	事務局運営は協議会規約に則って行われるものであり、規定の範囲内の事務を遂行するものであるため。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事務局運営は協議会規約に則って行われるものであり、規定の範囲内の事務を遂行するものであるため。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事務局運営は協議会規約に則って行われるものであり、規定の範囲内の事務を遂行するものであるため。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事務従事時間も最低限で削減の余地がない。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	草刈り委託のみで、削減してしまうと維持管理できなくなり、放置状態になってしまう恐れがある。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国鉄炭鉱跡地の協議会事業としては、ぼた山の維持管理等を行う協議会であるため、国や県の補助はない。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など) 令和5年度は、ぼた山の維持管理をはじめ、ぼた山の利活用に関し、3町で協議を重ね、その上事業者より1件の事業提案を受けた。今後、ぼた山開発に関する事業提案への受け入れ体制の構築(プロポーザル方式、公募等)や3町の協議体制の整理が必要となるため、各町にてスムーズな事業運営と協議の実施を行う。		
			0点	1点		2点	3点
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c		c	c
		いずれか1点	c	c		c	c
		合計4点	c	c		b	b
		合計5点	c	b		b	a
合計6点	c	b	a	a			
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)				
		皆減	縮小	維持	拡大					
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A				
		維持		E	D					
		縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
		休廃止	G							
D		成果・費用とも維持								

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業			<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1315209
事務事業名		公園管理事業			担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計	
	取り組み方針	15-2	快適な住環境を整える		款	08	土木費	
根拠法令条例等				個別計画	項	05	都市計画費	
				目	02	公園管理費		
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~ 年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民 ⑧ 公園、広場(都市公園、その他)	人 箇所	46,575 69	46,561 69	46,575 69
事業内容	③手段 (どのようにして)	年間を通して、公園内の樹木管理や清掃、遊具の点検、修繕などの公園(69箇所)の管理を行う				
	※実施年度に行った主な活動	・土地借上げ料の支払事務 ・年間業務委託契約事務(樹木管理、除草清掃、遊具点検) ・その他契約事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	公園清掃日数	日	目標	200	178	164
				実績	178	164	92.1%
イ	活動	管理樹木数	本	目標	6,450	6,360	5,947
				実績	6,360	5,947	93.5%
ウ	活動	遊具修繕件数	件	目標	20	20	16
				実績	20	16	80.0%
エ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	0
				実績	0	0	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	特定財源	国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
経費	その他特定財源		34,030	6,200	5,480	18,300	
	一般財源		153,175	164,478	155,132	187,852	
	合計(A)		187,205	170,678	160,612	206,152	170,678
	(内 会計年度任用職員人件費)		(12,696)	(14,416)	(13,775)	(17,684)	
	正職員人件費[按分](B)		11,170	8,525	6,418	11,464	
トータルコスト(A)+(B)			198,375	179,203	167,030	217,616	
関与職員数(単位:人)		正職員	1.46	1.10	0.93	1.37	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 多くの都市公園等が整備され、それに伴い維持管理が必要なため。	②事務事業を取り巻く環境の変化 施設の老朽化や樹木の成長が見られる。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 町民から、公園施設(遊具・外柵等)の老朽化に伴う苦情や改善要望、又、樹木の成長による落葉の増加や日照不足の苦情も出ている。
--	---------------------------------------	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	公園を維持管理することで良好な住環境及び快適な都市基盤の整備が確保できる。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	公園広場を安全で快適に利用できるようにすることは、上位施策の成果指標である「公園や広場の利用しやすさに満足している町民の割合」の向上に直結するため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画に掲げる町が取り組むべきことである「快適な住環境を整える」ことにつながるため。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	遊具の要補修診断箇所で修繕を実施できていない箇所があるため、修繕計画を立て補修や新設を実施することで成果を向上させることができる。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	志免町管内のすべての公園を対象としている。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	公園施設に関して樹木管理や清掃、遊具の修繕を行うことで安全に利用できるよう管理している。管理施設が膨大なため優先度をつけ都度対応を行っているため適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	専門業者に業務委託を行うことで、最小の事務量で事業を実施している。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	限られた予算の中で、現場状況を吟味して優先順位をつけ委託・工事等を実施している。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	公園施設の維持管理に関しては、現状対象となる補助等はない。	

分析・検証結果		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	設置からかなりの年数が経過した公園も多く、各公園において施設の老朽化が顕著となっており、遊具のみならずトイレやベンチ、照明灯などの公園施設の修繕を行った。また、樹木管理においても防犯上の観点から樹木の間引きや強剪定、寄植を低く刈り込むなどを行った。施設の老朽化などは、事故防止のため委託による安全点検や日常点検などで早期に発見することを今後も心がけたい。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡大		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持				